

2016年10月26日 No.42

ふれあいの輪

札幌市資源リサイクル事業協同組合

札幌市中央区北4条西15丁目1-53
TEL & FAX 011-615-5300
sapporo_shigenkumiai@yahoo.co.jp

【再生資源地域組合・北海道交流会を開催】

8月30日（火）札幌エルプラザ4階研修室3にて、かねてより目標としていた再生資源地域組合の北海道交流会を開催しました。初めての試みではありましたが、4組合及び稚内市の共同企業体の計5団体が集い、地域の取り組みなどを発表しあい、交流を行いました。各地域によって、行政との関わり方、回収方法や仕組みの違いなどの様々な違いを分かり、非常に有意義な交流会であったと思います。

『北海道内地域組合交流会を終えて』

札幌市資源リサイクル事業協同組合
理事長 東 龍夫

これまでの北海道の歴史の中でかつてなかった台風災害のために、帯広の組合が来られず、また函館の組合は着いてすぐ帰らなければならなくなるなど、アクシデントに見舞われた一日になりました。しかし、集まることの出来た4組合は、めげずに交流を進めた結果、新しい発見や温故知新の出来事もあり、楽しい時間を過ごすことが出来ました。「来年もやりたいね」という発言もあり、未来への第一歩になったことを嬉しく思います。道内各地の地域組合のみなさま、これからもどうぞよろしくお願いします。

『交流会の感想』

北見資源リサイクル事業協同組合
理事長 斉藤 伸一郎

今回の交流会を通して、道内各地の再生資源組合が、それぞれの地域で独自の活動を行なっているのが分かり有意義でした。行政との関わり方が地域により大きく違い、現在に至る過程もそれぞれ違っていることも分かりました。

特に、私たちの組合は発足当初から北見市行政の要請のもと北見市と協力し合い、回収方法等を試行錯誤しながらつくり上げました。

少し他の資源組合との体質の違いを感じたのは事実です。

各地、それぞれ文化や歴史が異なります。北海道の組合が全て同じ方向に向くのは、今はまだ難しいのではないかと感じました。

『交流会の感想』

函館再生資源事業協同組合
理事長 長南 武次

先日の交流会は途中で退席し、皆様方にはご迷惑をお掛けして大変申し訳ございませんでした。

理事長、組合員、事務局の方々には、準備の為に、ご苦勞されましたことに、感謝と御礼を申し上げます。

全道各組合から意見交換及び親睦を深める意味で非常に実りある交流会だったと思います。今後も年1回開催される事を望んでおります。

余談ですが、札幌での開催がいいですね(笑)

『交流会の感想』

苫小牧資源リサイクル協同組合
代表理事 藤井 勝行

札幌市資源リサイクル事業協同組合の東理事長様からご案内を頂きまして、再生資源地域組合の北海道交流会に参加出来たことをとても感謝しております。

参加組合様からの現状発表では、行政との関係が組合活動の原点であることを発表内容から再確認することができました。

当組合に当てはめると、行政主導の組合活動ではなく、組合員の安定した事業継続の為の活動、つまり、組合員への奨励金の必要性を強く感じました。

また、組合員の高齢化に伴い人手不足の現状は、どの組合でも問題であり、当組合も例外ではございません。今後の組合運営を継続かつ安定した財政を考えた時に、当組合だけで試行錯誤してみても、ただ問題を先延ばしにするだけで解決には至りません。今回の交流会で、組合同士が横の連絡を取れる、とても重要な機会を頂けたことに感謝して、これからの組合活動につなげていく必要があると感じました。

今後とも、宜しく願い申し上げます。

(1) 設立・構成

名称	所在地	代表者名	設立年	組合員数
函館再生資源事業協同組合	函館市	長南 武次	1974年	20社
苫小牧資源リサイクル協同組合	苫小牧市	藤井 勝行	1998年	9社
北見資源リサイクル事業協同組合	北見市	斎藤 伸一郎	1996年	7社
成澤・川村・戸松共同企業体	稚内市	成澤 豊	2012年	3社
札幌市資源リサイクル事業協同組合	札幌市	東 龍夫	1994年	43社

(2) 役員・賦課金・問屋加盟の有無

	役員	年賦課金	問屋加盟
函館再生資源事業協同組合	理事5名・監査2名	12,000 円	有り
苫小牧資源リサイクル協同組合	理事5名・監査2名	36,000 円	無し
北見資源リサイクル事業協同組合	理事5名・監査2名	0 円	有り
成澤・川村・戸松共同企業体	(組合組織ではない)	—	—
札幌市資源リサイクル事業協同組合	理事7名・監事2名	12,000 円	有り

(3) 行政関連の共同事業

函館再生資源事業協同組合	市が収集したアルミ缶・スチール缶などを随意契約で組合が市価で購入し、組合指定業者に売却。その収益を運営資金としている。
苫小牧資源リサイクル協同組合	行政が収集した紙パックの購入及び販売。行政が設置したリサイクルボックスからの回収(年間250トン)。
北見資源リサイクル事業協同組合	空きびん・空き缶・ペットボトル及び古紙の行政収集及びその分別業務を行政から委託を受けている。分別された空缶・古紙等は市が競争入札(但し、北見市内の業者に限定)で売却している。
成澤・川村・戸松共同企業体	市が収集した古紙を3社で作った共同企業体で受け入れている。空きびん・空き缶・ペットボトルは、別に組合があってそこで受け入れている。
札幌市資源リサイクル事業協同組合	市が設置した古紙回収ボックスの回収業務を入札により行っている。

(4) 集団資源回収

函館再生資源事業協同組合	組合加盟15社で行っている。年2回、市より実施業者に3円の謝礼金が交付されている。市環境部、関係団体、組合で随時回収についての会議を開き、システムの改善や回収量の維持・増量を図っている。
苫小牧資源リサイクル協同組合	組合加盟業者が市の指定業者になっており、指定業者でないと団体に奨励金が出ないことになっている。昨年は、244団体で6560トンの回収量。回収業者には奨励金が出ていないが、それでいいと考えている。
北見資源リサイクル事業協同組合	集団回収は組合員が個々で行っている。
成澤・川村・戸松共同企業体	集団回収は新聞のみで行っている。学校PTAでは、1回の回収で40トンくらい集まる。
札幌市資源リサイクル事業協同組合	昨年は4159団体、56272トンの回収量。これは、前年比4.9%の減少となった。団体には3円の奨励金。業者には新聞以外の品目に、1円(雑誌、紙パック、リユースびん、金属)と4円(ダンボール、古布)の奨励金が出ている。 組合としては、回収未実施の町内会を市から受けて共同事業として実施している。

(5) その他の共同事業

函館再生資源事業協同組合	函館エコフェスタに参加し、牛乳パックとティッシュペーパーの交換、回収した古本の販売などを行って好評を得ている。
苫小牧資源リサイクル協同組合	組合で一升瓶ケースをリースして各組合員に配布
北見資源リサイクル事業協同組合	なし
成澤・川村・戸松共同企業体	—
札幌市資源リサイクル事業協同組合	コアレックス道栄紙業委託による紙パック回収。 廃業する組合員の事業継承。 青年部活動(拠点回収、交流、学習・見学など)

(6) 雑がみ回収

函館再生資源事業協同組合	集団回収の1品目として回収
苫小牧資源リサイクル協同組合	市が収集して固形燃料化
北見資源リサイクル事業協同組合	市の資源ごみや燃やすごみの分別区分に沿って分別処理
成澤・川村・戸松共同企業体	—
札幌市資源リサイクル事業協同組合	市が収集し、選別を市の施設と古紙問屋で行っている